

項目	1300	1330	1400	1430	1500	1530	1600		
演習の構成	○各市町村の状況把握 ○県の対応意思の決定、指導	○総合的対応態勢の確立（監視警戒体制等）		○被害状況の把握		○広報、民生の安定			
共通状況	1245 県災害対策本部設置 15 #1噴火(ごく小規模) 18 緊急火山情報第2号	45 緊急参集チーム会議 45 #2噴火(中規模) 48 緊急火山情報第3号	03 臨時火山情報第4号	35 政府・非常本部設置 30 #3噴火(大規模) 33 緊急火山情報第4号		30 臨時火山情報第5号			
特別状況 (被害状況等)	○3箇町村が自主避難勧告発令 ○自衛隊への災害派遣要請	○大倉山北側スキーヤー未帰還 ○松尾村、スキー客の避難状況不明 ○自衛隊へ到着予定 ○警察・消防が県へ緊急援助隊等の要請を要求	○滝沢村から県へ、警戒区域の設定及び区域への進入についての調整を要求 ○盛岡環状線、交通事故発生	○火山灰の降灰による被害(木造家屋の倒壊) ○避難経路上で交通渋滞、事故発生 ○火山泥流の発生による被害 ・人、家屋、橋、道路等		○被害の大きい3箇町村が緊急輸送路の確保、今後の予測等を要請			
県災害対策本部の活動	○被害概況調査準備 ・調査体制の編成と任務区分 ・航空偵察の組織化 ・通信手段、安全確保 ○本部員会議 ・本部長へ状況報告 ・避難勧告助言の検討 ・関係市町村の状況の把握と連携 ○火山検討会の学術的助言 ○自衛隊派遣調整(LO) ・派遣優先順位の判断 ・勢力、活動拠点の調整 ○警察(広域緊急援助隊)の調整 ○消防(緊急消防援助隊)の調整 ○安否情報対応窓口の設置・編成 ○業務開始 ・住民、マスコミ等への伝達 ・関係部署及び依頼者への連絡、重要事項の記録	○ハザードマップによる被害予測 ○市町村への助言、調整と統制(勧告地域、時期、警戒区域) ○実行状況の確認(報告の要求) 発令の限界 ○緊急退避支援(市町村からの依頼受け時、一般住民と災害弱者、緊急退避場所・一般退避場所への誘導) ・全体像の把握と優先順位の判断 ・輸送手段の確保と経路の選定、特に地元消防による誘導 ○ヘリ運用調整 ・偵察、救助、捜索等	○被害概況調査 ・重要情報の迅速な報告 ・情報の共有化、総合化 ○状況により2次・3次の派遣要請 ○救助活動総合調整 ・救助活動(スキー場、泥流による孤立者等)	○輸送の確保 ○国道282号線と県道の通行可否の判断 ○県警との調整 ○県広報との調整 ○工事事務所等との調整 ○道路業者との調整 ○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等のための照明装置等の準備	○河川及び砂防 ・情報収集体制の構築(空陸) ○継続的な情報収集(監視システムによる収集と連報) ○泥流監視態勢の再確認 ○河川水質検査態勢の準備	○火山泥流による水位及び砂防施設の被害状況等の把握と下流域への連報 ○緊急対策事項可否の検討 ○夜間情報収集のための照明等の準備	○本部長記者発表 △噴火状況 △被害状況 △県の今後の対応 ・被害予測 ・孤立者の確認救助 ・監視の継続	
盛岡地方支部の活動	○被害概況調査準備 ・調査体制の組織化 ・通信手段、安全確保 ○輸送の確保について県への意見提出 ・通行可否と交通規制、迂回路等 ○情報収集編成の組織化 ○河川及び砂防 ・情報収集編成の組織化	○ハザードマップによる被害予測 ○県の指示を受けての交通規制 ○道路整備業者の手配 ○ハザードマップによる被害予測 ○道路パトロールの実施	○交通規制と並行した道路整備(火山灰、汚泥の除去、安全確保) ○被害情報の入手と報告 ○担当地域の交通網の検討と県への報告 ○夜間作業等のための照明装置等の準備	○河川及び砂防 ・情報収集体制の構築 ○砂防対策係、遊水池対策班との継続的な情報連絡 ○砂防監視状況の継続的な把握 ○火山、気象情報の収集と伝達(県、国現地調査員等) ○盛岡地方気象台との連絡 ○砂防災害の予測(ハザードマップに基づく) ○監視カメラ及び監視による継続的な監視	○火山泥流による水位及び砂防施設(堤防等)の被害状況等の把握 ○緊急対策事項可否の検討 ○夜間情報収集のための照明等の準備	○砂防 ・情報収集体制の構築 ○輸送の確保 ○国道4・46号線の通行可否の判断 ○広域迂回路の複数案検討 ○本局、県等との連携 ○県警との調整 ○広報の検討 ○道路業者との調整	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○火山泥流による砂防情報のとりまとめと本局、県等への報告・連絡 ○本局、県等からの継続的な情報の収集 ○緊急対策事項可否の検討 ○夜間情報収集のための照明等の準備	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等のための照明装置等の準備
工事事務所火山災害対策支部の活動	○砂防 ・情報収集体制の構築 ○輸送の確保 ○国道4・46号線の通行可否の判断 ○広域迂回路の複数案検討 ○本局、県等との連携 ○県警との調整 ○広報の検討 ○道路業者との調整	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等のための照明装置等の準備	○砂防 ・情報収集体制の構築 ○輸送の確保 ○国道4・46号線の通行可否の判断 ○広域迂回路の複数案検討 ○本局、県等との連携 ○県警との調整 ○広報の検討 ○道路業者との調整	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等のための照明装置等の準備	○砂防 ・情報収集体制の構築 ○輸送の確保 ○国道4・46号線の通行可否の判断 ○広域迂回路の複数案検討 ○本局、県等との連携 ○県警との調整 ○広報の検討 ○道路業者との調整	○警察等と連携した交通規制 ○道路整備業者の手配	○交通規制と並行した道路整備 ・逐次の被害情報の入手と安全確保 ○全体の交通網の検討 ○夜間作業等のための照明装置等の準備